

広報 もおか



真岡市市制施行70周年記念事業「いちごと笑顔でモザイクアートを作ろう」(P16 関連記事)

特集 令和6年度 当初予算 新規・重点事業
もおか若者会議 活動報告

広報もおか 827号/令和6年4月1日発行/発行人 真岡市長 石坂真一/編集 秘書広報課広報広聴係 〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 / TEL 0285-83-8100 / FAX 0285-83-5896 / HP <https://www.city.moka.lg.jp/>

No.157
わが家の天使たち

田町の
戸頃 **愛彩** ちゃん(2)
権 **くん** (0)

おてんばで面倒見のいい愛彩ちゃん、いつもニコニコ愛嬌のいい権くん！2人にはいつもたくさん元気をもらっているよ！これからもきょうだい仲良くすくすく育ててね！（父・母より）

笑顔
をさがして

394人目の笑顔さん
おぎはら **華** さん(左)
いけだ **彩詠** さん(右)

私たちは保育園からの幼なじみで、20歳を迎えた今でもよくご飯に行ったりお出かけをしたりと仲良しです。そんな私たちもこの春で社会人3年目になります。これからもお互い行き詰まったときには助け合いながら一緒に乗り越えていきたいと思ひます。



いちごのまちから 未来をつむぐ もおか70

～真岡市70周年・二宮誕生70年～

いちごと笑顔の写真募集

真岡市市制施行70周年記念事業「いちごと笑顔でモザイクアートを作ろう」



「いちごと笑顔」の顔写真を募集し、集めた画像で大きなモザイクアートをつくります！



モザイクアートは、大型タペストリーにして、8月以降、市役所本庁舎・二宮支所の各ロビーに展示します。

いちごと笑顔(表情)が写っていればOK！
抽選で70名様に観光物産館の商品券(2,200円分)が当たります！

応募条件

- ・いちご(クッションやイラストなども可)と一緒に写っている写真で横長のもの
- ・作品はデジカメやスマホで撮影したデジタル写真のみ応募可(高画質推奨)
- ・1人何枚でも応募可(住所地・年齢不問)
- ・撮影時期・場所は自由(過去に発表した作品でも可)

応募方法

市ホームページ内の専用応募フォームからお申し込みください
真岡市 HP トップ>注目ワード「いちごと笑顔の写真募集」をクリック
※メールや郵送では受付できませんのでご了承ください
応募締め切り：5月31日(金)まで



応募フォーム

問・秘書広報課広報広聴係 Tel 83-8100 e-mail : kouhou@city.moka.lg.jp



もおか70年 未来をつむぐ プロジェクト予算を編成



真岡市の魅力を次世代へ「選ばれる都市」の実現を目指します

令和6年度は、複合交流拠点施設や学校給食センターの完成が見込まれるとともに、観光拠点の整備や子育て支援、産業振興、さらに「真岡市70周年および二宮誕生70年」にふさわしいまちづくりに取り組んでまいります。

歳入 一般会計における市の収入

用語解説

自主財源▶市が自ら集めるお金

- 市税▶市民税など皆さまが納めるお金
 - ・市民税
 - ・固定資産税
 - ・都市計画税
 - ・軽自動車税
 - ・市たばこ税 など

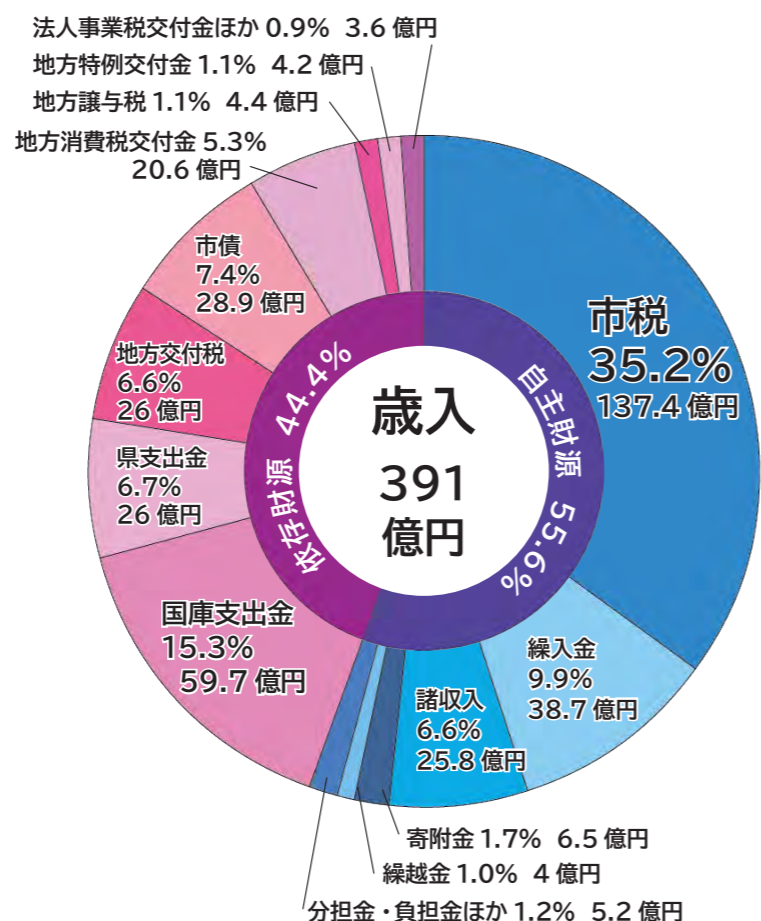
繰入金▶基金(貯金)の取り崩しなどによるお金

諸収入▶他の収入科目に含まれないお金

寄附金▶ふるさと納税など市に寄付されるお金

依存財源▶国、県などから交付されるお金

- 国庫支出金▶国が交付するお金
- 県支出金▶県が交付するお金
- 地方交付税▶国税から市の財源状況に応じて交付されるお金
- 市債▶国や県、金融機関から借りるお金



令和6年度 会計別予算 (前年度比)

会計	金額	前年度比
一般会計	391億円	5.5%増↑
特別会計	174億8,264万円	4.1%増↑
国民健康保険	84億6,556万円	5.3%増↑
後期高齢者医療	10億6,642万円	19.1%増↑
介護保険	70億5,943万円	3.2%増↑
休日夜間急患診療所	7,813万円	18.5%増↑
産業団地整備事業	8億1,310万円	14.4%減↓
水道事業会計	20億8,935万円	8.0%減↓
下水道事業会計	39億4,166万円	1.6%増↑
合計	626億1,365万円	4.4%増↑

※一般会計とは、公共事業や社会保障など、基本的な行政サービスに使うお金で、自治体の一番大きな財布です。特別会計等は、特定の目的ごとに財布を分け、分かりやすく予算を管理しています。
※予算は千円単位ですが、ここでは見やすい万円単位で表示しています。

財政力指数は14市中第3位

令和5年度の財政力指数は県内14市の中で宇都宮市、小山市に次いで3番目に高い数値です。(令和6年度は見込み)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1位	宇都宮市 0.951	宇都宮市 0.975	宇都宮市 0.979	
2位	小山市 0.933	小山市 0.937	小山市 0.946	
3位	真岡市 0.818	真岡市 0.842	真岡市 0.828	真岡市 0.831
4位	那須塩原市 0.749	那須塩原市 0.751	那須塩原市 0.747	順位は未確定
5位	足利市 0.730	足利市 0.732	足利市 0.740	

※財政力指数とは、市や町などの財政上の豊かさを示す指数で、1を超えるか1に近いほど財政状況に余裕があることを示しています。

歳出 一般会計におけるお金の使い道

用語解説

民生費▶福祉や子育てにかかるお金

総務費▶市役所の運営や企画・選挙などにかかるお金

教育費▶学校や社会教育などにかかるお金

土木費▶道路や公園などにかかるお金

公債費▶借りたお金の返済にかかるお金

衛生費▶病気の予防やごみ処理にかかるお金

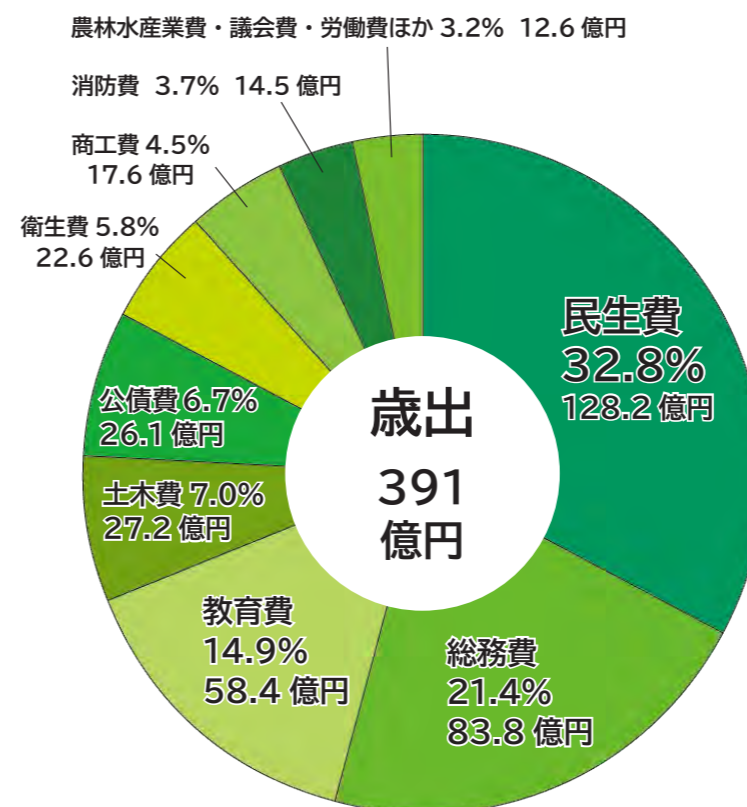
商工費▶商工業、観光振興にかかるお金

消防費▶消防や防災などにかかるお金

農林水産業費▶農業、畜産業振興にかかるお金

議会費▶市議会の運営にかかるお金

労働費▶雇用の拡大などにかかるお金



令和6年度 主な新規・重点事業

令和6年度の当初予算および
主要事業の詳細については、市
ホームページをご覧ください。
(問・財政課財政係Tel 83-8104)



「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～



保育料無償化の拡大



子どもの居場所づくり

子育て支援・健康づくり・高齢者支援

- 新** 第2子保育料の無償化 6,620万円
第2子について、0～2歳児の保育料を無償化（保育課）
- 新** 使用済おむつ処分費用補助 323万円
保育施設の使用済おむつ処分に係る費用を補助（保育課）
- 新** 子どもの居場所づくり事業補助 337万円
子どもの居場所づくりや子ども食堂などの生活支援を行う
団体に対し、運営費用を補助（こども家庭課）
- 帯状疱疹ワクチン接種補助 2,584万円
免疫機能の低下により発疹等がおこる帯状疱疹予防のための
ワクチン接種費用の一部を補助（健康増進課）
- まちなか保健室の運営 945万円
駅前館・田町館・にのみや館の3施設を市民の健康づくり
の拠点として活用（健康増進課）

「魅力づくり」～市民の力アップ!～

魅力創出

- 複合交流拠点施設の建設 22億7,345万円
令和7年春の開館に向けて「図書館・子どもの遊び場・
地域交流の場」が融合する複合施設の建設を継続（プロ
ジェクト推進課）
- いがしらリゾート農業拠点整備・運営 522万円
「いがしらリゾート」アグリゾーンでの農作物収穫体験の
事業を拡張（農政課）
- 新** 井頭温泉・チャットパレスリニューアル 3億8,101万円
いがしらリゾートの中心的施設である井頭温泉および
チャットパレスのリニューアル工事を実施（プロジェクト
推進課）
- 新** 市制施行70周年記念事業いちごハッピー
フェスティバル（仮称）の開催 5,000万円
市制施行70周年記念事業を開催し、市内外に真岡の魅力
を発信（総合政策課）



いがしらふぁーむ収穫体験



井頭温泉・チャットパレス

「にぎわいづくり」～まちの活カアップ!～

産業振興・観光

- 新** RTK基地局の整備・活用促進 1,184万円
スマート農業の普及・促進を図るため、農業機械の自動
運転における高精度な位置補正情報を提供するRTK基地
局整備を進め、あわせてスマート農業機械導入にかかる
費用の一部を補助（農政課）
- 日本一のいちごのまちPR 720万円
SNSやデジタル広告などを活用し、日本一のいちごのま
ち真岡市の情報を発信（秘書広報課）



自動運転トラクター

「人づくり」～豊かな心アップ!～

学校教育

- 新** 外国人児童生徒への初期指導員導入 120万円
日本語が話せない児童生徒の通常学習への早期移行を図
るため、集中的な初期指導を実施（学校教育課）
- 学校給食センターの建設および増強 18億8,565万円
第一学校給食センターの建て替え工事および第二学校給食
センターの調理能力増強整備を継続（学校給食センター）

文化・スポーツ

- 新** 海外友好都市バーチャルツアー 485万円
友好都市ハーヴィー市との交流を深めるため、市民を対
象としたバーチャルツアーを開催（秘書広報課）
- 総合運動公園第Ⅲ期工区の整備 2億1,718万円
南ブロックⅢ期工区の本最終年度として、硬式兼軟式野球場
周辺のエントランス広場や園路などを整備（都市計画課）

「都市づくり」～暮らしやすさアップ!～

生活・環境

- 新** 合葬墓地の管理運営 270万円
長田霊園地内の合葬墓地を夏ごろ供用開始予定（環境課）
- 住宅用太陽光・蓄電池システム設置補助900万円
一般家庭の再生可能エネルギーの普及促進を図るため住
宅用太陽光・蓄電池システム設置費用の一部補助（環境課）
- もおかベリー号の運行 2,579万円
中心市街地と周辺地区を結ぶ「もおかベリー号」を運行
（総合政策課）



合葬墓地（イメージ）

安全・安心

- 新** 避難所空調機器の導入 616万円
避難所開設の可能性が高い一次避難所に、避難者の生活
環境整備のため、移動式の空調を設置（くらし安全課）
- 消防会館建て替え・消防ポンプ車更新 1億760万円
老朽化した消防会館の建て替えおよび消防団の消防ポン
プ車を普通自動車免許で運転可能な3.5トン未満に更新
（くらし安全課）



真岡小学校体育館（一次避難所）



真岡の未来のために一歩を踏み出そう！
もおか若者会議が市へ意見書を提出

もおか若者会議とは？

真岡市に住む人、働く人、大学生、市役所職員など、さまざまな人が集まり、業種を越えた交流を通して真岡市の未来を語り合う団体です。

令和5年度は、一般公募により概ね18歳から40歳までの20人のメンバーが集まりました。若者会議メンバーは、若者の視点をまちづくりに取り入れるために実施する「若者ミーティング」の開催に向けて事例研究や視察研修を行い、準備を進めました。10・11月に開催した「若者ミーティング」には高校生以上の若者約30人が参加し、グループに分かれて真岡市の課題や改善策について意見を出し合いました。

若者の意見を
市政に反映できるか

鈴木会長をはじめとする若者会議メンバー代表の5人が、3月に「若者ミーティング」の結果を踏まえた意見書を石坂市長へ提出しました。

市では、まちづくりの指針として令和6年度に策定する「総合計画」や「総合戦略」に若者の視点をまちづくりに取り入れようと、意見書の内容について精査・検討を進めてまいります。



若者ミーティングでのグループワークの様子

もおか若者会議の目的



1. 若者がまちづくりに参画する機会の創出
2. 未来を担う人材の育成
3. 若者同士の横のつながりづくり

令和5年度のスケジュール

- 5月 キックオフミーティング・参加者同士の交流
- 6月 グループワーク
過去に実施した若者ミーティングを模擬体験
- 7月 市内視察
真岡市をより知るため市内の観光拠点等を視察



- 8月・9月 グループワーク
若者ミーティングの開催方法を検討し、デモンストレーションを実施



- 10月・11月 若者ミーティング
- 12月・1月 抽出した若者の声をもとに意見書を作成
- 2月 意見書提出に向けた準備
若者会議内で意見書発表会
- 3月 市に意見書を提出

4つのテーマで構成された意見書の内容を紹介します

意見書は、2回にわたり開催された若者ミーティングで出た意見をもとに作成されたものです。4つのテーマで構成された意見書について、それぞれの課題と主な提案内容を紹介します。



自転車活用を含む交通環境の充実
真岡鐵道に自転車を乗せたい！



課題	車を運転できない市民の移動手段の確保
提案	○真岡鐵道へのサイクルトレインの導入 広範囲の移動が可能に 自転車活用により観光地周遊の利便性が向上 ○バス停付近の駐輪場整備(サイクル&バスライド) 運行路線付近に住む人の利用増加 バス停付近の放置自転車減少

若者を呼び込む施設や拠点の整備
ベリテンライブとキャンプコラボ！



課題	進学・就職時の若者の流出、全国的な市の認知度
提案	○キャンブインふえす ベリテンライブを契機としたいがしらリゾート、 その他市内周遊の仕組みづくり ○僕たち、私たち、真岡育ち！ 複合交流拠点などを活用した市内中高生を対象とする子育てボランティア事業

子育てや教育環境の充実
市公式アプリのリニューアルを！



課題	支援策が伝わっていない、相談できない人の増加
提案	○「真岡市公式アプリ」のリニューアル ・防災情報だけでなく子育て情報の発信にも活用 ・アプリを通じた補助申請なども可能に ○子育てコミュニティの形成 ・悩みを気軽に共有できる講座や場所を提供 ・夫婦協働の子育て環境を創出

食に関すること(農業や事業者への支援も含む)
真岡のいちごを全国区に！



課題	他県では知られていない「日本一のいちごのまち」
提案	○真岡市を知ってもらう！ 県アンテナショップでの真岡市商品の販売拡充 ○真岡市に来てもらう！ いがしらリゾートを生かした年中いちごを楽しめるスポットの創出 ○SNS・特設サイトの構築 SNSを活用した市民参加型企画の開催

表彰 市長賞メダル贈呈式
2.29 (木)

市長賞メダル贈呈式がKOBELCO 真岡いちごホール小ホールで行われ、スポーツや文化・芸術などの分野で特に優れた成績を収めた19名の方々が受賞しました。(敬称略)

- 令和5年度こどもの人権絵画コンテスト 最優秀賞
山前小5年・柳澤英実
- JFA U-12 ガールズゲーム2023 関東 in 群馬 県予選1位
中村小6年・小池風瑠
- 第39回全国小学生陸上競技交流大会栃木県予選会 5年男子100m優勝
中村小5年・高田煌矢
- 第6回県学童少年少女駅伝競走那須塩原大会 男子の部 優勝
長沼小6年・塚原潤季
- 第69回栃木県青少年読書感想文コンクール 小学校高学年の部 課題図書 優秀賞
久下小6年・西崎惺菜
- 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア栃木県大会創造アイデアロボットコンテスト 応用・発展部門 県教育長賞
真岡東中3年・永石優菜、青木一華、久保野綾/同1年・青木ひなた



- 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア関東甲信越大会 創造アイデアロボットコンテスト 審査の部 計測・制御部門 最優秀賞
真岡東中2年・富山侑義/同中1年・船木青羽、永石颯太
- 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア栃木県大会 創造アイデアロボットコンテスト 基礎部門 優勝
真岡東中3年・塚越祐心、石井健太郎、水沼稜統
- 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア全国大会 創造アイデアロボットコンテスト 厚生労働大臣賞
真岡東中3年・柳大河、池田陽香、飯野陽音
- 第67回 JA 共済県下小・中学生書道コンクール条幅の部 知事賞
宇都宮短期大学付属中3年・大塚芽生

表彰 優秀社員・技能検定試験合格者表彰式
2.6 (火)

今回の優秀社員表彰では市内企業に勤務し、他の社員の模範となる社員13名が、技能検定試験合格者表彰では、令和4年度後期試験および令和5年度前期試験において1級または単一等級に合格した市民19名が受賞しました。なお、2月6日(火)に行われる予定だった表彰式は天候の都合により、中止となりました。

優秀社員表彰受賞者

大瀧建設(株)・島田江美/ (株)和興建設・和田広幸、山崎朝秀/ 剋真建設(株)・高松義明、深谷博子/ 芳賀商事(株)・並木貞治、木村貴之、高田和幸、高村治彦/ (株)林材木店・大島茂/ 添野一雄税理士事務所・小林史朗、古口充久/ (有)新井油店・篠崎順子

技能検定試験合格者表彰受賞者

- 金属ばね製造 (株)パイオラックス真岡工場・浅井祐也
- 機械検査 (株)小松製作所小山工場・木村浩通
- 冷凍空調和機器施工 田崎設備(株)・田崎裕弥
- 機械加工 (株)小松製作所小山工場・渡邊達夫、橋本奉和、上野雄平
- 金属熱処理 (株)プロテリアル特殊鋼・松本大樹、小林光/ (株)小松製作所小山工場・大福地正純/ (株)ムロコーポレーション烏山工場・松本朗/ 関東熱処理(株)栃木工場・加藤英之
- 建築板金 (株)力又マ鋼建・鹿沼崇虎、橋本海羅
- 鋳造 日産自動車(株)栃木工場・上野陽一/ (株)真岡製作所・稲見昌弘
- 塗装 (株)協和製作所・松本啓太/ (株)小松製作所茨城工場・太田潤
- プラスチック成形 光洋産業(株)栃木工場・杉山崇
- 路面標示施工 水都交安工業(株)・平石亮弥

表彰 令和5年度 真岡市スポーツ協会 優秀選手等表彰式
2.24 (土)

真岡市スポーツ協会では、各種スポーツ大会で優秀な成績を収めた方や長年スポーツ団体の役員・指導者として尽力した方を表彰しています。令和5年度は、体育功労賞17名、優秀指導者賞1名、スポーツ優秀選手賞71名の合わせて89名の方が、本協会の井澤会長より表彰状を手渡されました。



表彰 真岡児童館 3R推進協議会会長賞受賞 積極的なSDGs活動を実施
2.14 (水)

真岡児童館は、平成15年から児童が中心となり磯山の森林保全活動および環境美化活動を行っています。また、3R活動推進のためのフリーマーケット出店や壁新聞作成を通じた調査研究など、年々活動の幅を広げ、子どもたちの資源循環型社会推進への学びや普及啓発につながる活動を続けており、その実績が評価されました。



表彰 地域における社会教育活動を推進 宮田武さんが大臣表彰を受賞
2.14 (水)

社会教育功労者として文部科学大臣表彰を受けた宮田武さんが市役所を訪れ、石坂市長に報告しました。宮田さんは、平成13年から19年間真岡市社会教育委員として、青少年教育や家庭教育支援をはじめ、学習内容の整備や学習機会の充実に努めました。また、生涯学習によるまちづくりなど、地域の社会教育の発展にも取り組み、それらの功績が認められました。



表彰 分別・洗浄・コンテナの積み方等を審査 優秀・優良資源ステーション表彰
2.29 (木)

資源の分け方やビン・缶・ペットボトルの洗浄、コンテナへの入れ方・積み方など模範となる、優秀資源ステーション10カ所、優良資源ステーション20カ所が表彰されました。

【優秀資源ステーション】荒町2・萩田公園北入口/ 荒町4・(株)芳賀電業社北/ 東光寺・鏡田公園東/ 並木町・寺久保公園東/ 熊倉1・澤村宅西向/ 熊倉2・土田宅東/ 東郷・大前神社駐車場/ 高勢町・高勢南公園東/ 寺内・久保宅十字路北/ 三ツ谷・(株)ホンデン駐車場南倉庫

表彰 地域をきれいに 清掃活動に尽力 環境美化功労者感謝状を贈呈
2.29 (木)

この感謝状は、公共施設などや地域の環境美化に積極的に取り組んでいる個人、団体へ贈られるものです。今年度は、生徒会が主体となり地域とのつながりを深めながら学校周辺の落ち葉清掃を行っている真岡高等学校と、平成26年ごろからほぼ毎日、城山公園周辺の除草作業や落ち葉清掃を行っている石川義男さんが受賞しました。



左から、石坂市長、真岡高等学校生徒会長 若林 瑛達さん

石川 義男さん

表彰 3.13 (水) 第53回 日本農業賞 個別経営の部 (株)ベリーズバトン 優秀賞受賞

(株)ベリーズバトンの新井孝一代表が市役所を訪れ、日本農業賞個人経営の部において優秀賞を受賞した喜びを石坂市長に報告しました。この賞は、農業経営に意欲的に取り組み、優れた功績を収めた農家や団体を表彰するもので、同社が手掛けるいちご生産の計画的で安定した経営や、働きやすい環境づくりに力を入れている点などが評価されました。



左から、石坂市長、(株)ベリーズバトン代表取締役 新井 孝一さん

交付式 3.1 (金) 真岡木綿の技術保存と振興 真岡木綿技術者認定証 交付式

真岡木綿技術者の認定証交付式が行われ、刈部文子さん、及川裕子さんが認定されました。2人は6年4カ月の研修を重ね、デザインから手紡ぎ、手染め、手織りなど、真岡木綿における全工程の技術を習得し、この期間に反物を26反織り上げました。真岡木綿技術者認定は昭和62年に始まり、これまでに2人を含め45人が認定されています。



左から、及川 裕子さん、刈部 文子さん 織り上げた真岡木綿とともに

活動 2.10 (土) 住民視点で防災意識を広める 真岡市防災リーダー養成研修

令和5年10月から令和6年2月にかけて、真岡市防災リーダー養成研修が行われました。各地域における防災力の向上を目的としており、研修を修了した受講者は市の防災リーダーとして登録され、自主防災組織やその他団体が実施する訓練に参加するほか、防災や減災に関する普及啓発活動を行います。



【令和5年度 真岡市防災リーダー養成研修 修了者】 大作正男・熊倉2 / 池田佳正・根本 / 田野井美・本郷 / 橋本広海・本郷 / 塩野谷規昭・西沼 / 水沼清二・京泉2 / 日下田千枝・君島 / 小林隆秀・久松 / 岩淵勉・大田山 / 手塚清美・大田山 / 清野英雄・西郷 / 渡邊裕一・高間木 / 高松洋二・大谷台 / 渡邊幸恵・下籬谷

イベント 2.17 (土) いにしへの技と歴史の宝を守る耐震工法 専修寺楼門 再建工事説明会

高田山専修寺の国重要文化財建造物で、現在、耐震化工事が行われている「楼門」の一般向け説明会が開催されました。参加者たちは、今しか見られない木材の組み方や、江戸時代の建築技術を生かしながら、文化財を守る耐震工法などを間近で見学しました。



足場に登り屋根部分の説明を受ける参加者たち



イベント 3.9 (土) 歴史を振り返り新たな飛躍を誓う 大内西小学校創立150周年記念式典

創立150周年を迎える大内西小学校で記念式典が行われ、児童や保護者、地元住民、来賓など280人が出席しました。式典では児童全員によるお祝いのメッセージが発表され、校歌に続く「ありがとうの花」の斉唱では、子どもたちの明るく元気な歌声が会場を包みました。式典後には記念DVDの鑑賞や作新学院高等学校吹奏楽部による記念公演が行われました。



応援 2.21 (水) パリ五輪代表選考会前に水沼尚輝選手が公開練習 声援を力に変えて泳ぎたい

真岡市アンバサダーの水沼尚輝選手が、新潟県長岡市のプールで公開練習を行いました。水沼選手は飛び込みの姿勢を確認したあと、小さなパラシュートを身に付けて泳ぐ負荷トレーニングなどを披露。取材では「自己ベストを大きな目標にして突き進んでいきたい。いちごパワーで頑張ります!」と意気込みを語りました。

市政情報 PLUS 人口と世帯数 令和6年3月1日現在 ※カッコ内は前月比 78,844人 (-18) 男39,930人 (-23) 女38,914人 (+5) 33,180世帯 (+28) 住民基本台帳と外国人登録者数(4,178人)から算出

令和6年度 行政組織機構の再編

Table showing organizational changes from Heisei 5 to Reiwa 6 across departments like Health, Construction, and Waterworks.

4月から変更となる主な行政組織(新たな部署名は青字)のみ掲載 (問・総務課総務文書係Tel 83-8106)

「おくやみコーナー」4月から開設

市役所本庁舎1階に「おくやみコーナー」を開設します。これは、市民の方がお亡くなりになられた後に、必要となる市役所の手続きをまとめて行えるワンストップサービスです。事前予約制となりますので、ご利用の際は、4月1日以降に下記へお問い合わせください。(問・おくやみコーナーTel 83-8143)

新任民生委員・児童委員の紹介

3月1日付けで、長友哲也さん(大田山地区担当)が、新たに民生委員に就任しました。今後、地域の皆さまの生活上のさまざまな相談に応じ、適切な支援やサービスが受けられるよう、市や関係機関とのつなぎ役となります。(問・社会福祉課社会福祉係Tel 81-6943)



一日も早い被災地の復興を願う

2月1日(木)、真岡工業団地総合管理協会の岸田充弘理事長と小池敏之専務理事が市役所を訪れ、能登半島地震災害義援金として10万円を寄付しました。岸田理事長は「被災地では、いまだに多くの方が避難生活を余儀なくされています。少しでもお役に立てたら」と語りました。(問・社会福祉課社会福祉係Tel 81-6943)



地域の力を復興の支援へ

3月1日(金)、真岡市グラウンドゴルフ協会二宮支部の内田豊支部長らが市役所を訪れ、能登半島地震災害義援金として10万円を寄付しました。内田支部長は「二宮支部は小さい団体ですが、行動することで支援の輪が広がれば」と語りました。(問・社会福祉課社会福祉係Tel 81-6943)



市政こよみリニューアル

4月号から市政こよみのデザインをリニューアルしました。主なポイントは次のとおりです。

- ①文字をUDフォント(ゴシック)に変更し、アイコンの活用で見やすく
- ②各行事の担当と連絡先を追加
- ③2つ折りレイアウトで貼りやすく

(問・秘書広報課広報広聴係Tel 83-8100)



WeeklyNewsもおかの紙面を拡大

4月5日号から「Weekly News もおか」をB4判からA3判に拡大、文字サイズも大きくなります。

(問・秘書広報課広報広聴係Tel 83-8100)



子どもたちから広がる支援の輪

2月14日(水)、真岡児童館児童代表の子どもたちが市役所を訪れ、能登半島地震災害義援金として12万8千円を寄付しました。この寄付金は、11月に実施した「児童館ショップ」で、学童児童が不用品を再利用してストラップ等を作り販売した売上金と、子どもたち自ら率先して募金活動を行って支援いただいたものです。(問・社会福祉課社会福祉係Tel 81-6943)



わたのみ基金・善意銀行

2月に寄付をされた方々です。ご協力ありがとうございました。(敬称略、問・社会福祉協議会Tel 82-8844)

わたのみ基金
(有)ハヤセ 68,000円

善意銀行
JA はが野真岡地区・二宮地区女性会 食品
匿名 中学校制服(上・下)1着

真岡で活躍している人を応援します それいけ！ まちびと

熊倉2丁目の自宅に開いたカルチャースクール・雑貨店「Strawberry Drop」店主の中畑恵さん。趣味が高じて自らイベントを主催し、今では講師としても市内外で活動しています。活動のきっかけや思いを、地域おこし協力隊の栗村さんが取材しました！



小さい頃から手芸が好きで、マスコットを作ったり洋服を仕立てたりといろいろな物を手作りしていました。結婚して真岡に移り住み、子育て中も趣味として続けていたある日、「マルシェに出店してみない？」と声をかけられ、初めて作ったものを販売してみました。それがとても楽しくてまたやりたいと思い、お店を借りて作品を販売したり、マルシェを企画したりするようになりました。

作家さんが集まらないとか、お客さんが少ないとか、大変なこともありましたが、来てくれたお客さんにお礼と次回開催のハガキを送ると、「冷蔵庫に貼ってるのよ」と言ってくれたり、続けるモチベーションになっています。

今は、自宅にカルチャースクール・雑貨店をオープンさせ、ハンドメイドの講師もしています。店や講師としての活動、イベントでは、作家さんの発表、販売の場をつくり、つながりを生み出し、ハンドメイドを楽しむ人をサポートしていきたいです。



市HP ID 21089

集まれ mokafan

みなさんのSNS投稿作品を紹介

インスタグラムやフェイスブック、エックスなどのSNSで、#mokafan や#真岡応援カメラマンが付いた作品から、今回は「梅・桜」をテーマに紹介します。(問・秘書広報課シティプロモーション係 Tel 81-6947)

ご自身のSNSアカウントで「#mokafan」「#真岡応援カメラマン」をつけて写真を投稿してください。



市HP ID 13734



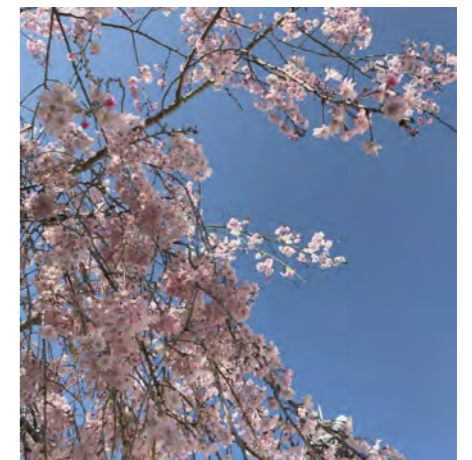
真岡市公式 Instagram



♡Q▽ #梅(千代ヶ丘八幡宮)



♡Q▽ #桜 #夜桜(行屋川)



♡Q▽ #mokafan #真岡市

#真岡ごはん 真岡の「美味しい」をお届けします。



①店長の野沢有仁子さん ②一番人気のソーセージ&ベーコン ③本格石窯 ④こだわりの生地はすべて手作り ⑤店舗敷地入口



【所在地】大根田 427
 【駐車場】5台程度
 【営業時間】11:00~18:00
 【定休日】不定休
 (Instagramをご覧ください)
 【メール】crazy.monster225@gmail.com



クレイジー
 モンスター
 Instagram

クレイジーモンスター CRAZY MONSTER (大根田)

キッチンカーに石窯を積み、500℃で1枚1枚丁寧に焼き上げる本格ピザです。ふっくらモチモチのピザ生地に香ばしい焦げ目、メニューも豊富ですので、いろいろな味を楽しみながらお気に入りを見つけてください！イベントや施設等への出張販売も承ります。詳しい営業日は、Instagramから。

読者プレゼント

応募締切 令和6年4月30日(火) ※消印有効

抽選で、当店人気の「マルゲリータ PIZZA」Mサイズを3名にプレゼントします。専用応募フォーム、または官製はがきに必要事項を記入し、応募ください。

【必要事項】応募者情報(住所・氏名・年齢・連絡先) 広報紙に関するご意見・ご感想など

【応募先】〒321-4395 真岡市荒町 5191 番地 秘書広報課広報広聴係 「広報もおか4月号プレゼント」担当



応募フォーム

-注意事項-

- *市内外問わず1人1通応募可
- *応募数が定数を超えた場合は抽選
- *当選者のみ当選券を発送

あの日あそこ

第421回

おおはら ふみお
 大原 文雄さん
 (物井在住・75歳)



四季を楽しみながら過ごす
 真岡暮らしが大好きです

私は昭和24年、物井で生まれ、5人きょうだいの長男として育ちました。当時、日本は戦後の第1次ベビーブームで、近所でも子どもがたくさんいた時期でした。姉によく手を引かれて通った母校の物部小学校では、ひと学年だけでも200人ぐらいの児童がいてとてもにぎやかでした。また、休み時間や放課後には、友達と侍ごっこやゴム銃で遊び過ごした思い出があります。

中学を卒業後、真岡農業高校(現・真岡北陵高校)の畜産科へ進学しました。高校では農業クラブの会長を務め、県内各校の代表生徒との交流もあり充実していました。家が農家だったので、帰宅後は両親の農作業を手伝っていました。



若い頃の大原さん

高校を卒業後、家を継ぎ、自身でいちごやキュウリの栽培をしました。途中から養豚業に切り替えて40年ほど続けました。思い出と言えば、楽

しいことを企画するのが好きだったので、子どもが小学生の頃、校庭で豚を丸焼きにして子どもたちに食べてもらうイベントを考えました。



NHKテレビ・ラジオ体操指導で有名な輪嶋氏を講師に招き、PTAの講演会を開催

焼きたての肉を子どもたちがおいしそうに頬張ってくれてうれしかったですね。また、学童野球のチームを友人と作ったり、近所の子もたちを連れて野球観戦や海水浴へ行くなど、仕事の傍ら、子どもとの時間も大事にしていました。一方、大変なこともありました。それは東日本大震災の影響で断水が続いた時です。家畜の飲み水を確保するため、庭の古井戸から水をくみ上げ、井戸と畜舎を1日に何十回も往復しました。また、自宅の屋根瓦が崩れてしまい、自ら屋根の応急措置を行うなど、大変な時期でしたが、やり遂げた充実感があり、人生の中で一番思い出に残っています。

現在では、無農薬の野菜や味噌づくり、庭の植



庭にある松の木をせん定する大原さん

木の手入れ、磯山の散歩、温泉などを楽しみながら過ごしています。これからも家族の健康を第一に、身近な自然を大切にしながら過ごしていきたいと思っています。

消費生活センターメモ No.490

購入業者が自宅に来て物品を買い取る「訪問購入」のトラブルが増えています



<事例>「食器や古着を買い取る。被災地支援のため協力してほしい」と電話があり訪問を承諾した。訪問した購入業者から、「貴金属はないか」と強く言われ、仕方なく指輪を見せたところ、売ってもらいはなかったのに強引に買い取られてしまった。

購入業者による飛び込みの勧誘は禁止されています

事前に電話などで消費者の同意を得てから訪問しなければなりません。安易に訪問を承諾せず、話を聞かずに断ることが大切です。また、突然訪問した業者を家に入れないようにしましょう。

事前に承諾をしてない物品(貴金属など)の売却を迫られたら、きっぱり断る

「指輪やネックレスはないか」などと、事業者が事前に承諾した物品以外の買い取りを勧誘することは禁止されています。

クーリング・オフ期間中、消費者は物品の引渡しを拒むことができます

訪問購入は、契約書面を受領した日から8日以内であれば、クーリング・オフができます。また、購入業者が物品を買い取った後、すぐに転売してしまう恐れがあるため、クーリング・オフ期間中は、購入業者に物品を引き渡さず手元に置いておくことができます。

【相談窓口】消費生活センター(くらし安全課内)
 Tel 0285-84-7830 (ハナシテナヤミナシ)
 平日 9:00~12:00 13:00~16:00 ※相談料無料